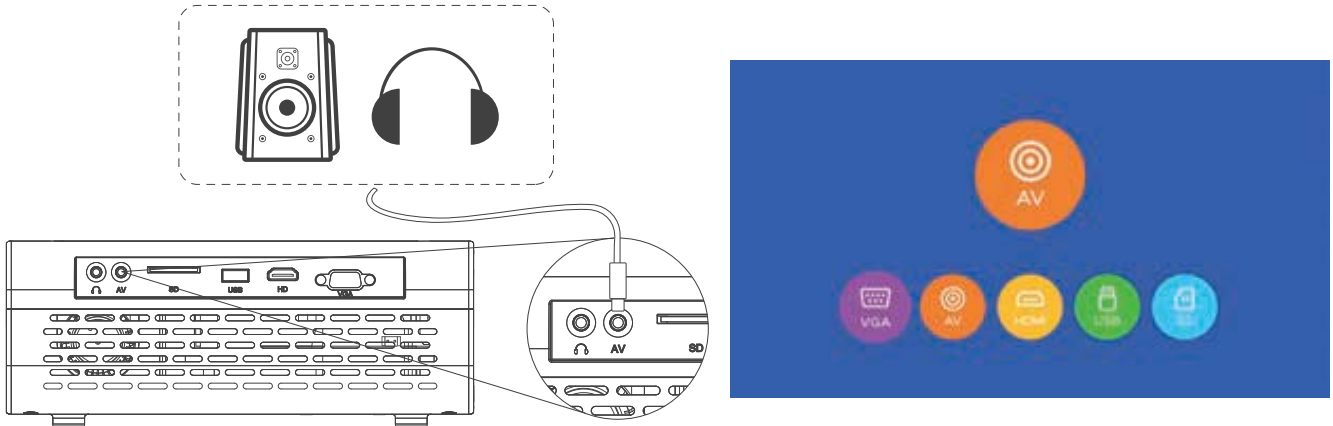


B.AVモード

ステップ 1：プロジェクターと設備を AV 線で接続する

ステップ 2：プロジェクターまたはリモコンの source ボタンを押してください。→ 入力元画面に入る

ステップ 3：AV を選択し、OK ボタンを押して入り、リターンキーを押してプロジェクターのメイン画面に戻ります。



JP

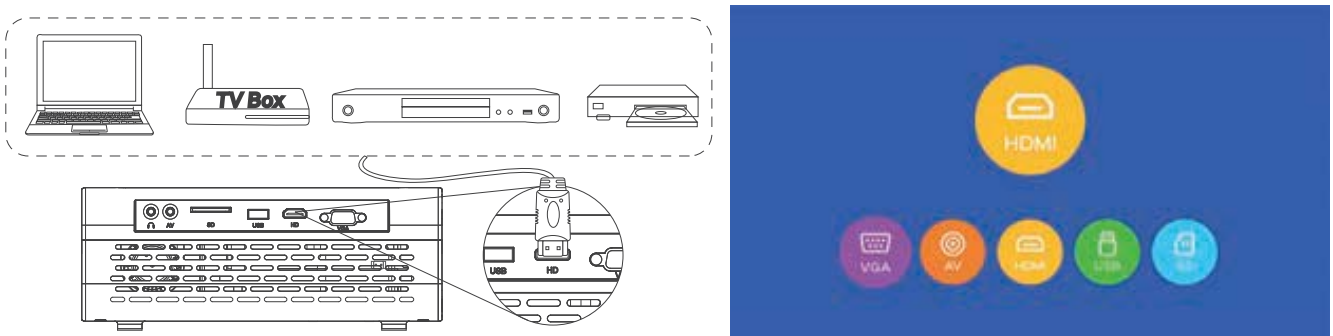
C.HDMIモード

ステップ 1：プロジェクターと機器を HDMI ケーブルで接続する

ステップ 2：プロジェクターやリモコンの source ボタンを押します。→ 入力元画面に入る

ステップ 3：HDMI を選択して、OK ボタンを押して入って、リターンキーを押してプロジェクターのメイン画面に戻ります。

ご注意：HDMI モードを使用する場合は、プロジェクターに接続されているデバイスの解像度を手動で 1366 * 768 に変更する必要があります、投影効果が向上します。



D. USBモード

ステップ 1：プロジェクターを USB メモリに接続する

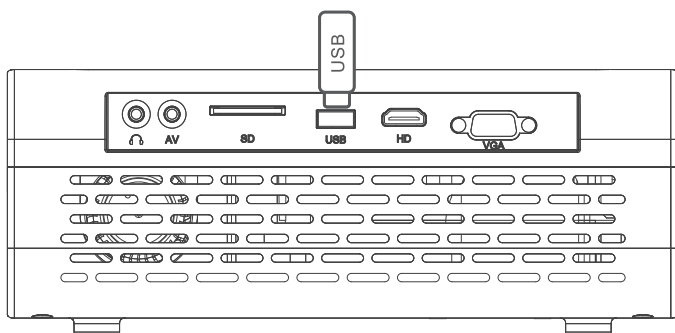
ステップ 2：プロジェクターやリモコンの source ボタンを押します。⇒入力元画面に入る

ステップ 3：USB を選択して、OK ボタンを押してモジュールの画面に入ります。

ステップ 4：ファイルタイプの対応する Movie、Music、Picture モジュールを選択し、OK ボタンを押してファイルインターフェースに入ります。

ステップ 5：ファイル画面で再生するファイルを選択し、OK ボタンを押して再生を選択します。

ステップ 6：リターンキーを押してプロジェクターのメイン画面に戻ります。



E. SDモード

ステップ 1：プロジェクターを SD メモリに接続する

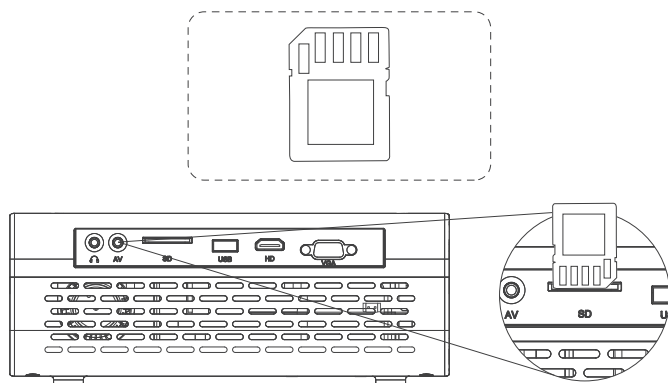
ステップ 2：プロジェクターやリモコンの source ボタンを押します。⇒入力元画面に入る

ステップ 3：SD を選択して、OK ボタンを押してモジュールの画面に入ります。

ステップ 4：ファイルタイプの対応する Movie、Music、Picture モジュールを選択し、OK ボタンを押してファイルインターフェースに入ります。

ステップ 5：ファイル画面で再生するファイルを選択し、OK ボタンを押して再生を選択します。

ステップ 6：リターンキーを押してプロジェクターのメイン画面に戻ります。



WiFi設定

ご注意：Pro モデルと Max モデルだけで WiFi 機能を備えています。WiFi 機能がないとスクリーンミラーリングできません。

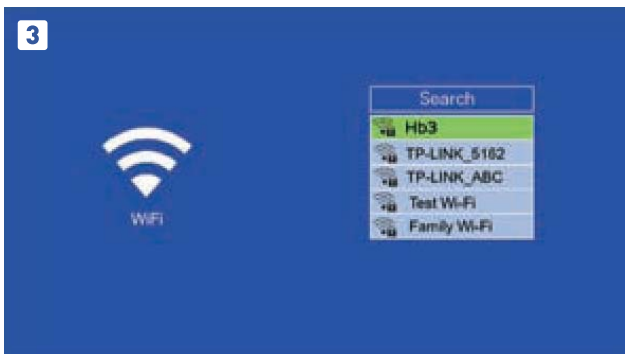
1. プロジェクターを開いて、プロジェクターのメイン画面に入る



2. リモコンの方向ボタンで同画面に入り、OK ボタンを押して WiFi の設定に入ります。



3. 接続する WiFi の名前を選択し、リモコンを使って仮想キーボードのキーを制御してパスワードを入力する。



JP

4. OK を確認し、リモコンでリターンボタンをクリックし、プロジェクターで WiFi を接続することに成功しました。



スクリーンミラーリング

ご注意：Pro モデルと Max モデルだけで WiFi 機能を備えています。
WiFi 機能がないとスクリーンミラーリングできません。

IOSシステムの場合 (WiFiを使用したストリーミング)

1. プロジェクターを開いて、プロジェクターのメイン画面に入る



2. リモコンの方向ボタンまたはリモコンのワンタッチで同画面のボタンを押して同画面の画面に入る
注意：Pro と Max だけが同じ画面機能を持っています。



3. 同画面でリモコン OK ボタンを押し、WiFi 設定画面に入る

4. 接続する WiFi の名前を選択し、リモコンを使って仮想キーボードのキーを制御してパスワードを入力する。

JP



5. OKを確認し、リモコンでリターンボタンをクリックし、プロジェクターでWiFiを接続することに成功しました。携帯電話のネットワーク設定を開き、携帯電話とプロジェクターを同じWiFiに共同接続する
6. リモコンでキーを返すか、プロジェクターのリターンボタンでプロジェクター画面を同画面画面に切り替える。リモコンのワンタッチでスクリーンボタンを押してスクリーンに入ることもできます。
注：ProとMaxだけが同じ画面機能を備えています。
7. 携帯電話の画面を開いて現在のプロジェクター設備を設定し、選択します。EKcast-xxxxxxをクリックして接続します。
8. プロジェクターと設備の画面が一致したら、同じ画面が成功します。



JP

IOSシステムの場合(セルラーデータを使用したストリーミング)

1. プロジェクターを開いて、プロジェクターのメイン画面に入る
2. リモコンやプロジェクターの方向ボタンを使って同画面に入るか、リモコンを使って同画面に入ることもできます。



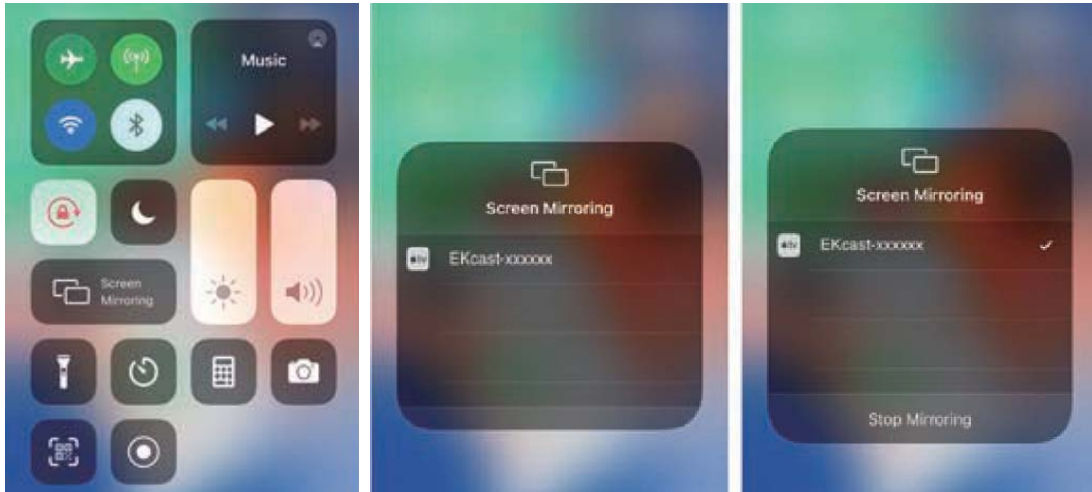
3. 携帯電話の WiFi を開いてプロジェクターからの WiFi を設定し、接続する

DEVICE:EKcast-xxxxxx PIN:12345678

4. iOS モバイルデバイスの同画面機能オプションを見つけ、プロジェクターデバイスをクリックして検索する

5. プロジェクター設備を選択します。EKcast-xxxxxx をクリックして接続します。

6. プロジェクターと設備の画面が一致すると、同画面は成功します。



Androidシステムの場合 (WiFiを使用したストリーミング)

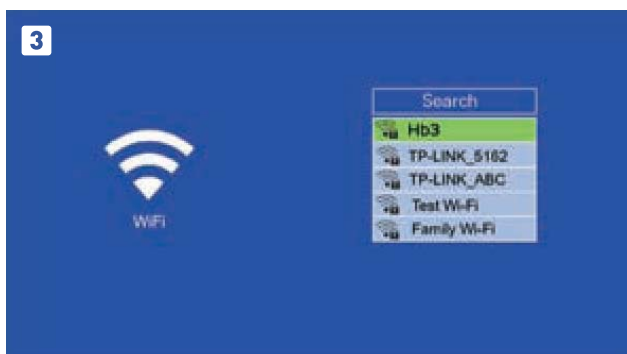
1. プロジェクターを開いて、プロジェクターのメイン画面に入る

2. リモコンの方向ボタンで同画面画面に入る

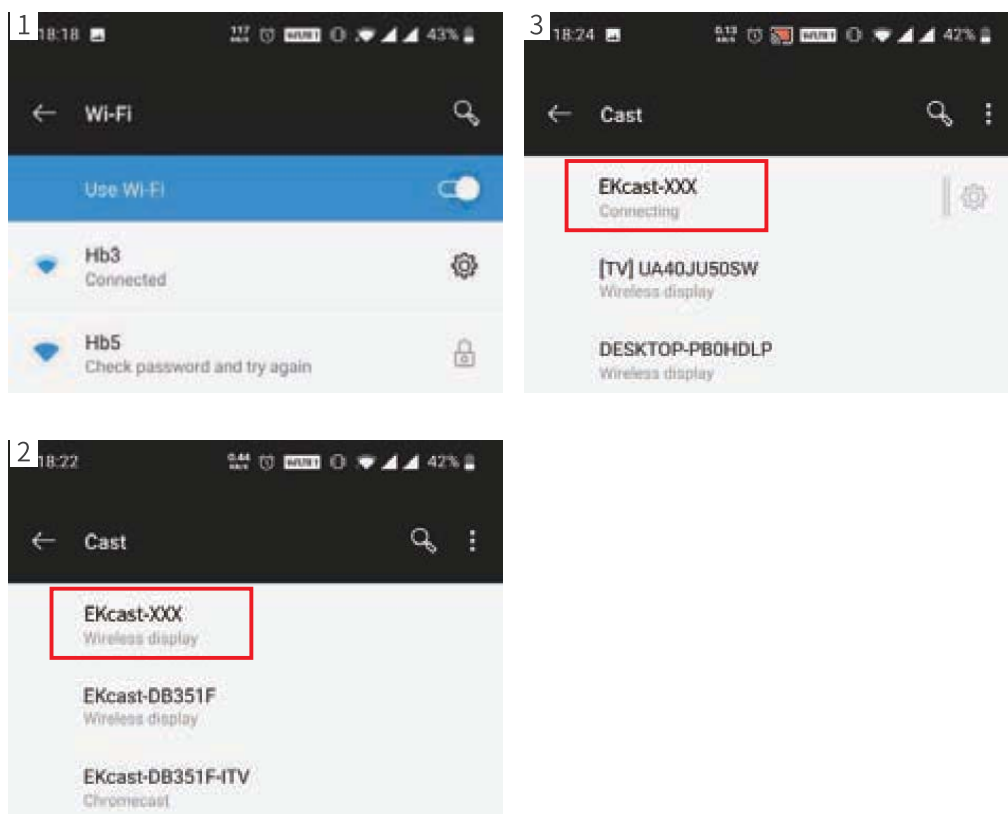


3. 同画面でリモコン OK ボタンを押し、WiFi 設定画面に入る

4. 接続する WiFi の名前を選択し、リモコンを使って仮想キーボードのキーを制御してパスワードを入力する。
5. OK を確認し、リモコンでリターンボタンをクリックし、プロジェクターで WiFi を接続することに成功しました。



6. 携帯電話のネットワーク設定を開け、携帯電話とプロジェクターを同じ WiFi に共同接続する
7. リモコンでキーを返すか、プロジェクターのリターンボタンでプロジェクター画面を同画面画面に切り替える。リモコンのワンタッチでスクリーンボタンを押してスクリーンに入ることもできます。
注意：Pro と Max だけが同じ画面機能を備えています。
8. 携帯電話の画面を開いて、現在のプロジェクター設備を選択する：EKcast-xxxxxx をクリックし、接続する
9. プロジェクターと設備の画面が一致したら、同じ画面が成功します。



JP

Androidシステムの場合 (WiFiを使用したストリーミング)

1. プロジェクターを開いて、プロジェクターのメイン画面に入る
2. リモコンやプロジェクターの方向ボタンを使って同画面に入るか、リモコンを使って同画面に入ることもできます。
注意：Pro と Max だけが同じ画面機能を備えています。



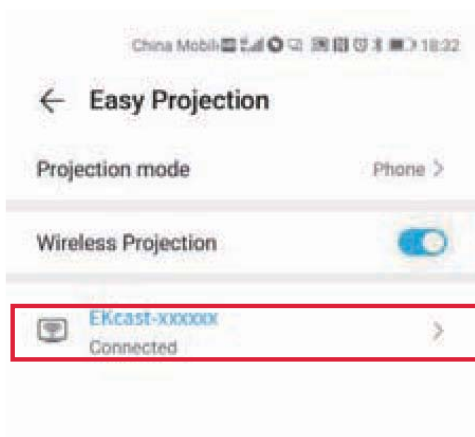
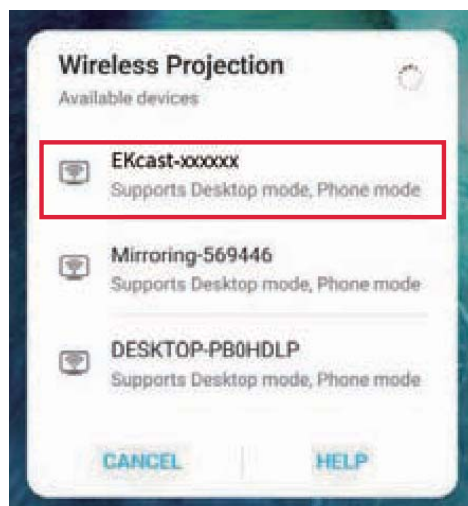
3. 携帯電話の WiFi を開いてプロジェクターからの WiFi を設定し、接続する：

DEVICE：EKcast-xxxxx PIN：12345678

4. モバイルデバイスの同画面機能オプションを見つけ、プロジェクターデバイスをクリックして検索する

5. 現在のプロジェクター設備を選択します。EKcast-xxxxx をクリックして接続します。

6. プロジェクターと設備の画面が一致したら、同じ画面が成功します。



JP

MacBookデバイス用

1. プロジェクターを開いて、プロジェクターのメイン画面に入る

2. リモコンやプロジェクターの方向ボタンを使って同画面に入るか、リモコンを使って同画面に入ることもできます。

注意：Pro と Max だけが同じ画面機能を備えています。



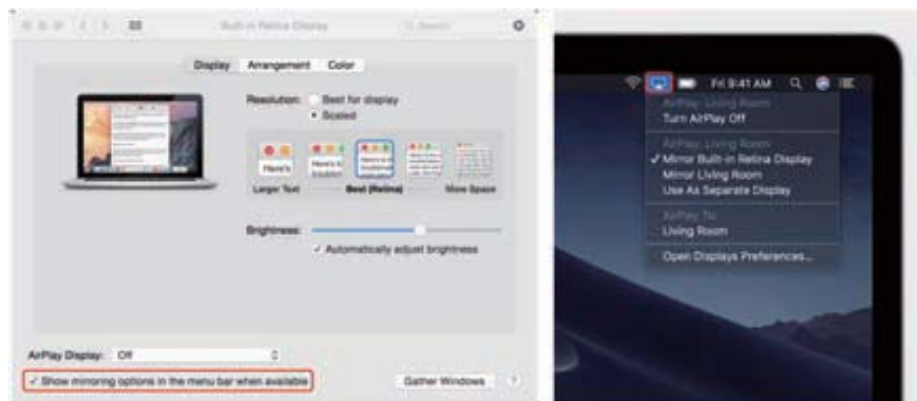
3. MacBook をプロジェクターからの WiFi に接続する

DEVICE : EKcast-xxxxx PIN : 12345678

4. 設定を開けて、Airplay を見つけて、プロジェクターをクリックして検索する

5. 現在のプロジェクター設備を選択します。EKcast-xxxxx をクリックして接続します。

6. プロジェクターと設備の画面が一致したら、同じ画面が成功します。



Windows PCの場合 (WirlessMiracastはWindow10システムのみをサポートします)

1. プロジェクターを開いて、プロジェクターのメイン画面に入る

2. リモコンやプロジェクターの方向ボタンを使って同画面に入るか、リモコンを使って同画面に入ることもできます。

注意：Pro と Max だけが同じ画面機能を備えています。

JP



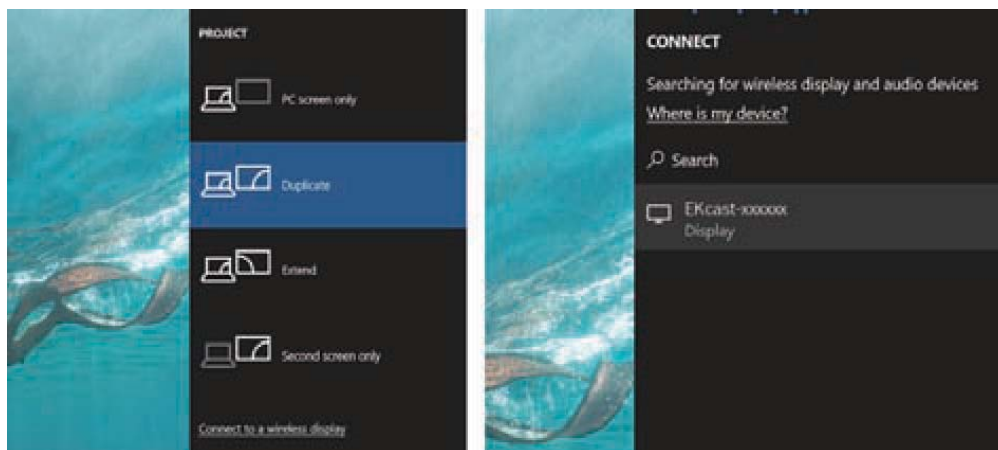
2. Windows PC をプロジェクターからの WiFi に接続する：

DEVICE：EKcast-xxxxx PIN：12345678

3. ショートカットを使って \square +P 投影設定に入り、Duplicate を選択し、Connected to a wireless display をクリックして設備検索に入ります。

4. 現在のプロジェクター設備を選択します。EKcast-xxxxx をクリックして接続します。

5. プロジェクターと設備の画面が一致したら、同じ画面が成功します。



JP

有線接続 (Androidシステムの場合)

ステップ 1：プロジェクターの電源を入れ、プロジェクターのメインインターフェイスに入ります。

ステップ 2：リモコンの方向ボタンを使用して、スクリーンミラーリングインターフェイスに入ります。

手順 3：初めて使用する場合は、携帯電話の充電ケーブルの USB ポート をプロジェクターの USB ポート に接続し、充電ポートを携帯電話の充電ポートに接続します。

ステップ 4：接続が安全になると、電話インターフェイスがポップアップウィンドウから自動的にポップアップします。[表示] をクリックして、ポップアップ URL をローカルブラウザに転送します。

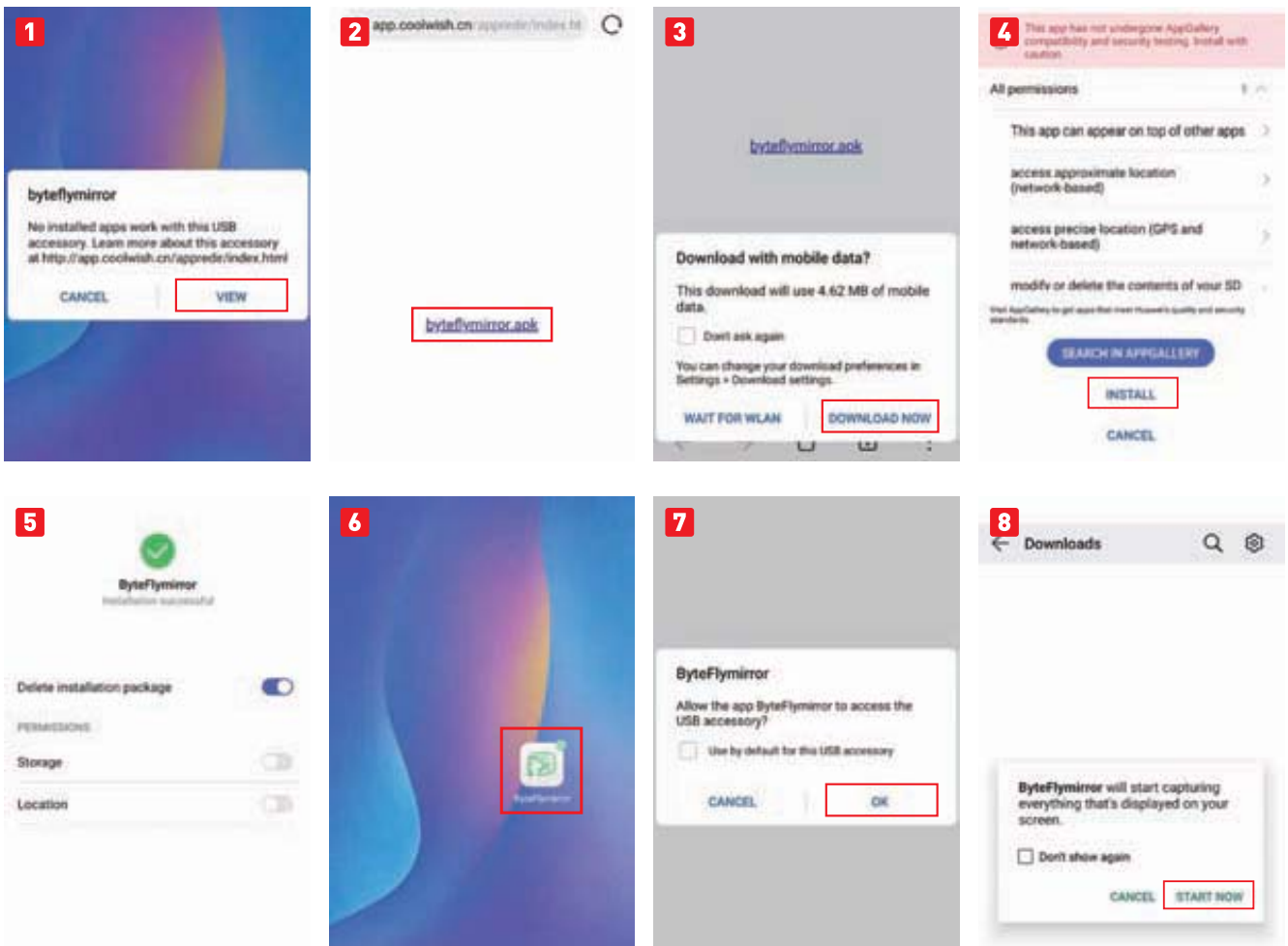
ステップ 5：ダウンロードするブラウザインターフェイスで「byteflymirror.apk」をクリックします。ダウンロード後にインストールしてください。

ステップ 6：インストールが完了したら、電話のデスクトップで「byteflymirror」アプリをクリックすると、電話のインターフェイスにポップアップウィンドウが表示されます。[OK] をクリックします。

ステップ 7：確認が完了すると、ポップアップウィンドウ 2 が電話インターフェイスにポップアップ表示されます。[今すぐ開始] をクリックして、画面を正常に共有します。

ステップ 8：携帯電話のポートを切断してスクリーンミラーリングを終了します。

手順 9：スクリーンミラーリングで手順 1、手順 2、手順 3、手順 7、手順 8 を 2 回繰り返します。



JP

有線接続 (IOSシステムの場合)

ステップ 1：プロジェクターの電源を入れ、プロジェクターのメインインターフェイスに入ります。

ステップ 2：リモコンの方向ボタンを使用して、スクリーンミラーリングインターフェイスに入ります。

ステップ 3：携帯電話の充電ケーブルの USB ポートをプロジェクターの USB ソケットに接続し、充電ポートを携帯電話に接続します。

ステップ 4：初めて接続するとき、ポップアップウィンドウが電話インターフェイスに表示され、[信頼] をクリックし、ポップアップポップアップウィンドウ 2 で、電話のパスワードを入力します。

ステップ 5：携帯電話の充電ポートに接続されているデータケーブルを抜いて差し込むと、スクリーンミラーリングが正常に表示されます。

手順 6：2 回目の接続の場合は、携帯電話とプロジェクターを携帯電話の充電ケーブルで接続してスクリーンミラーリングにします。



ブルートゥースモード

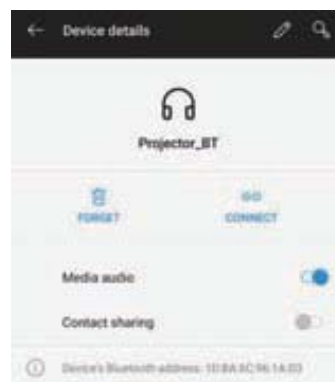
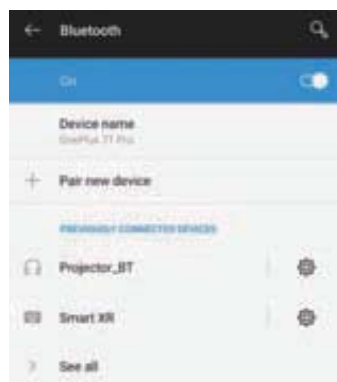
JP

1. プロジェクターを開いて、プロジェクターのメイン画面に入る

2. リモコンやプロジェクターの方向のボタンを使って Bluetooth モードに入ることもできますし、リモコンを使って Bluetooth スピーカーのボタンを押して Bluetooth モードに入ることもできます。
プロジェクター Bluetooth 名：Projector_BT



3. 携帯の Bluetooth 機能を開いて、プロジェクターの Bluetooth 名称を検索してマッチングする。



4. Bluetooth モードではリモコンやプロジェクターの方向ボタンでスクリーンボタンを押してスピーカーモードに入ることができます。任意のボタンを押してプロジェクターの画面が明るくなります。

5. リモコンの方向ボタンや接続機器で曲の再生を一時停止 / 前の曲 / 次の曲の操作ができます。

Specifications

パラメータ	Magic 420	Magic 420Pro	Magic 420 マックス
ブルートゥース	✓	✓	✓
ワンキー画像が明るくなる	✓	✓	✓
ミラーリングのワンキー	✗	✓	✓
WIFI	✗	2.4G	2.4G+5G
スロー率	1.4		
ディスプレイ技術	LCD		
光源	LED		
アスペクト比	16:9/4:3/Auto		
フォーカス	マニュアル		
キーストーン	±15°		
投影モード	前 / 後ろ / 天井		
スピーカー	1*5W		
電源	AC 100-240V, 50-60Hz		
単位寸法	240*202*95 mm		
単位純重量	1.51kg(3.33lb)		
フォトフォーマットサポート	JPG/JPEG/PNG/BMP		
オーディオフォーマットサポート	MP2/MP3/WMA/FLAC/PCM		
ビデオフォーマットサポート	AVI/MP4/MKV/FLV/MOV/RMVB/3GP/MPEG/H.264/XVID		
ポート	HDMI in / USB Port / Audio in / AV in / VGA Port / SD Card Slot		
取付ねじ	1/4 metric		
スクリュー数	1		

シューティングシュー

Q1. ぼやけたイメージ

投影距離が最小投影距離 1.2 m よりも大きいことを確認する

フォーカスフォーカスリング

Q2. Hulu、Netflix、および類似したサービスからの内容は、映されることができないか、投げられることができません？

* Hulu、Netflix、および同様のサービスからの著作権制限のために、内容はミラーリングであるかもしれません。

Q3. Hulu、Netflix、および同様のサービスからプロジェクターを通して内容を見たいなら、どうすればよいですか？

* 火のテレビスティック、六棒または chromecastTM（含まれない）を準備してください。

その後、コンテンツを見てプロジェクターに接続します。

Q4. Remote Unresponsive

* IR 受信機のリモートポイントを直接確認します。

* IR 受信機をカバーしないでください。

* AAA バッテリーの新しいペアを試してください。

Q5. 投影機无法同屏

* まずプロジェクターが Scren Mirroring 入力元モードを選択しているかどうかを確認し、携帯電話はプロジェクター WiFi に接続されていますか？

* プロジェクターが WiFi 機能を備えている場合は、WiFi を使ってプロジェクターとデバイスが同じ WiFi に接続されているか確認してください。

* Scren Mirroring 入力源を選択しても WiFi に接続されても同じ画面に接続できない場合は、電源を抜いて再試行してください。

* 電源を抜いて再試験したら、同じ画面にならない場合は、出荷時の設定を元に戻してください。

* 上記の手順ではスクリーンとの接続ができませんので、ご連絡ください。

Q6. プロジェクターの画像に黒い点が現れます。

* プロジェクターの底面を上にして、プロジェクターの底面にある Maintenance Window を開きます。

* ドライヤーやドライヤーで本体の底にドライヤーをかける

* 投影画像に黒い点が残っているかどうかを確認し、存在する場合、ほこりが除去されていないことを説明し、画像に黒い点がないまで掃除を続けます。

* クリーンアップ後にプロジェクターを閉じる Maintenance Window は元に戻す

Q7. ブルートゥースの接続に失敗しました。

* プロジェクターと接続機器の Bluetooth インタフェースをそれぞれ開く

* 携帯の Bluetooth がプロジェクターの Bluetooth とマッチングしたかどうかを確認することに成功しました。

* ペ어링に成功してもプロジェクターが動作しない場合は、電源を抜いてやり直してください。

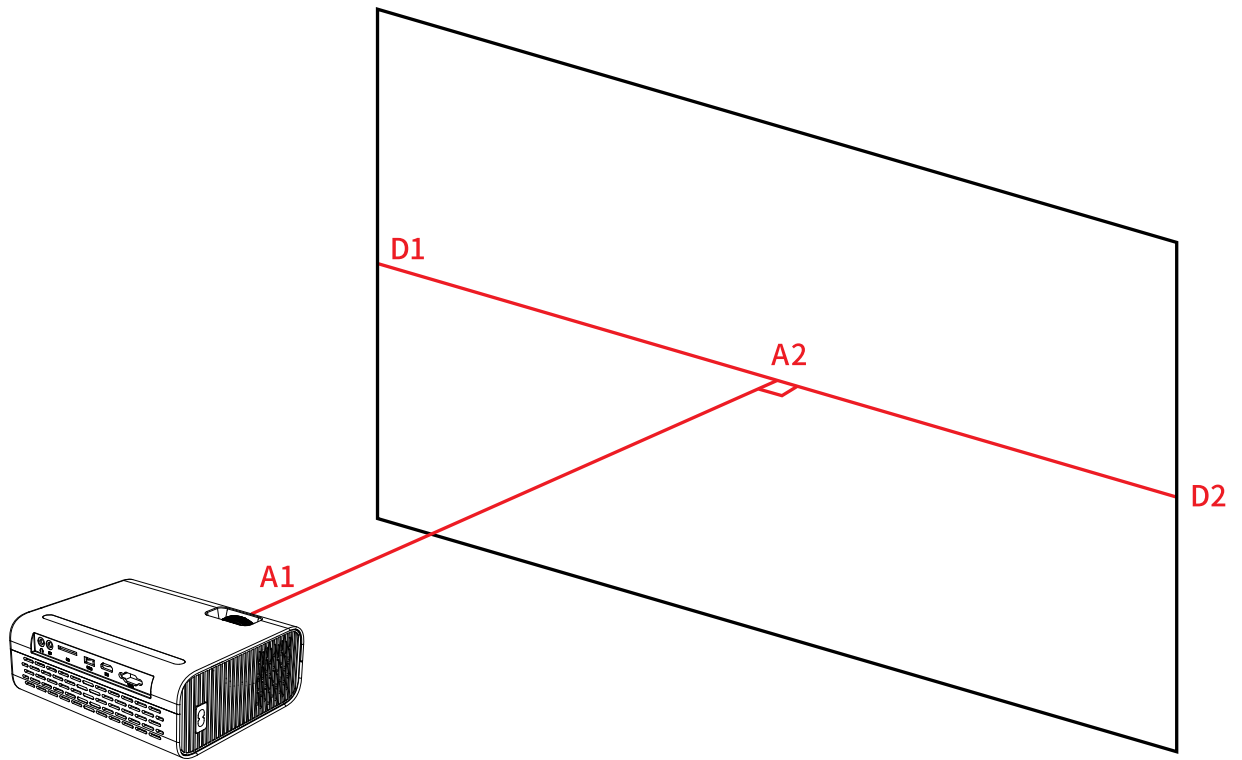
* 電源を抜いても作業に成功しません。出荷時の設定を元に戻して再試験してください。

Q8. 100 インチのスクリーンプロジェクターを投げるには壁からどれぐらいの距離が必要ですか？

* プロジェクターの投射比は 1.4、100 インチスクリーンの長さ D12 は 2214 mm です。

* 投射比 = プロジェクターレンズから壁までの距離 A1A2 / 投射画面長 D1D2

1.4=A1A2/2214 で A1A2 を発売しました。3099 mm です。



Q9. プロジェクターの画像表示に信号がない

* 全てのケーブルが正しく、プロジェクターと接続されていることを確認してください。

* プロジェクター入力元モードが対応フォーマットに選択されているか確認する

* 例えば、機器とプロジェクターを HDMI ケーブルで接続すると、プロジェクターは HDMI 入力チャンネルを選択しなければならず、他のチャンネルを選択すると信号がないと表示されます。

Declaration of Conformity

We (Manufacturer is responsible for this declaration)

GuangDong Substanbo Technology Co.,Ltd.
(Company name)

2508, Building 4, Tianan Cloud Park Phase II, Bantian Street, Longgang District, Shenzhen, China 518100
(Company address)

declare under our sole responsibility that the product

Trade name: Bomaker
Equipment: PROJECTOR
Model No. : Magic 420 Base

to which this declaration relates is in conformity with the essential requirement set out in the Council Directive on the Approximation of the laws of the Member States relating to RED Directive(2014/53/EU) & EMC Directive(2014/30/EU) & Low Voltage Directive (2014/35/EU) RoHS(2011/65/EU) product is responsible to affix CE marking, the following standards were applied:

2014/53/EU (RED) Radio Equipment Directive Standards :

EN 62479:2010
EN 50663:2017
EN 62368-1:2014/A11:2017
EN 50332-2: 2013
ETSI EN 301 489-1 V2.2.3 (2019-11)
Final draft ETSI EN 301 489-17 V3.2.3 (2020-07)
ETSI EN 300 328 V2.2.2 (2019-07)

2014/30/EU EMC Directive Standards :

EN 55032:2015
EN 61000-3-2:2019
EN 61000-3-3:2013/A1:2019
EN 55035:2017

2014/35/EU Low Voltage Directive Standards :

EN 62368-1:2014/A11:2017

2011/65/EU RoHS Directive Standards:

IEC 62321-3-1 : 2013
IEC 62321-4 : 2013
IEC 62321-5: 2013
IEC 62321-6 : 2015
IEC 62321-7-1 : 2015
IEC 62321-7-2 : 2017
IEC 62321-8 : 2017

Full Name: Lion Liao

Position: Approbation Manager

Signature: 

Date: Dec.29.2020

Konformitätserklärung

Wir (Hersteller ist verantwortlich für diese Erklärung)

Guang Dong Substanbo Technology Co , Ltd
(Name der Firma)

Room 2508, Bd.4, Tianan yungu 2nd Industrial Park, Longgang District Shenzhen,China
(Name der Firma)

erklären unter unserer alleinigen Verantwortung, dass das Produkt

Handelsname: Bomaker

Ausstattung: PROJEKTOR

Modellnummer: Magic 420 Base

Die Erklärung, auf die sich diese Erklärung bezieht, entspricht der grundlegenden Anforderung der Richtlinie des Rates zur Angleichung der Rechtsvorschriften der Mitgliedstaaten in Bezug auf die ROTE Richtlinie (2014/53 / EU) und die EMV-Richtlinie (2014/30 / EU). Niederspannungsrichtlinie (2014/35 / EU) Das RoHS-Produkt (2011/65 / EU) ist für die Anbringung der CE-Kennzeichnung verantwortlich. Folgende Normen wurden angewendet:

2014/53 / EU (ROT) Richtlinien für Funkgeräte :

EN 62311: 2008

EN 50665: 2017

EN 62368-1: 2014 / A11: 2017

EN 50332-2: 2013

ETSI EN 301 489-1 V2.2.3 (2019-11)

Endgültiger Entwurf ETSI EN 301 489-17 V3.2.3 (2020-07)

ETSI EN 300 328 V2.2.2 (2019-07)

Normen der EMV-Richtlinie 2014/30 / EU:

EN 55032: 2015

EN 61000-3-2: 2019

EN 61000-3-3: 2013 / A1: 2019

EN 55035: 2017

Normen der Niederspannungsrichtlinie 2014/35 / EU:

EN 62368-1: 2014 / A11: 2017

Standards der RoHS-Richtlinie 2011/65 / EU:

IEC 62321-3-1: 2013

IEC 62321-4: 2013

IEC 62321-5: 2013

IEC 62321-6: 2015

IEC 62321-7-1: 2015

IEC 62321-7-2: 2017

IEC 62321-8: 2017

Voller Name: Lion Liao

Position: Approbation Manager

Unterschrift: 

Date: 29.Dez.20

Declaration of Conformity

We (Manufacturer is responsible for this declaration)

GuangDong Substanbo Technology Co.,Ltd.
(Company name)

2508, Building 4, Tianan Cloud Park Phase II, Bantian Street, Longgang District, Shenzhen, China 518100
(Company address)

declare under our sole responsibility that the product

Trade name: Bomaker
Equipment: PROJECTOR
Model No. : Magic 420 Pro

to which this declaration relates is in conformity with the essential requirement set out in the Council Directive on the Approximation of the laws of the Member States relating to RED Directive(2014/53/EU) & EMC Directive(2014/30/EU) & Low Voltage Directive (2014/35/EU) RoHS(2011/65/EU) product is responsible to affix CE marking, the following standards were applied:

2014/53/EU (RED) Radio Equipment Directive Standards :

EN 62311:2008
EN 50665:2017
EN 62368-1:2014/A11:2017
EN 50332-2: 2013
ETSI EN 301 489-1 V2.2.3 (2019-11)
Final draft ETSI EN 301 489-17 V3.2.3 (2020-07)
ETSI EN 300 328 V2.2.2 (2019-07)

2014/30/EU EMC Directive Standards :

EN 55032:2015
EN 61000-3-2:2019
EN 61000-3-3:2013/A1:2019
EN 55035:2017

2014/35/EU Low Voltage Directive Standards :

EN 62368-1:2014/A11:2017

2011/65/EU RoHS Directive Standards:

IEC 62321-3-1 : 2013
IEC 62321-4 : 2013
IEC 62321-5: 2013
IEC 62321-6 : 2015
IEC 62321-7-1 : 2015
IEC 62321-7-2 : 2017
IEC 62321-8 : 2017

Full Name: Lion Liao

Position: Approbation Manager

Signature: 

Date: Dec.29.2020

Konformitätserklärung

Wir (Hersteller ist verantwortlich für diese Erklärung)

Guang Dong Substanbo Technology Co , Ltd
(Name der Firma)

Room 2508, Bd.4, Tianan yungu 2nd Industrial Park, Longgang District Shenzhen,China
(Name der Firma)

erklären unter unserer alleinigen Verantwortung, dass das Produkt

Handelsname: Bomaker

Ausstattung: PROJEKTOR

Modellnummer: Magic 420 Pro

Die Erklärung, auf die sich diese Erklärung bezieht, entspricht der grundlegenden Anforderung der Richtlinie des Rates zur Angleichung der Rechtsvorschriften der Mitgliedstaaten in Bezug auf die ROTE Richtlinie (2014/53 / EU) und die EMV-Richtlinie (2014/30 / EU). Niederspannungsrichtlinie (2014/35 / EU) Das RoHS-Produkt (2011/65 / EU) ist für die Anbringung der CE-Kennzeichnung verantwortlich. Folgende Normen wurden angewendet:

2014/53 / EU (ROT) Richtlinien für Funkgeräte :

EN 62311: 2008

EN 50665: 2017

EN 62368-1: 2014 / A11: 2017

EN 50332-2: 2013

ETSI EN 301 489-1 V2.2.3 (2019-11)

Endgültiger Entwurf ETSI EN 301 489-17 V3.2.3 (2020-07)

ETSI EN 300 328 V2.2.2 (2019-07)

Normen der EMV-Richtlinie 2014/30 / EU:

EN 55032: 2015

EN 61000-3-2: 2019

EN 61000-3-3: 2013 / A1: 2019

EN 55035: 2017

Normen der Niederspannungsrichtlinie 2014/35 / EU:

EN 62368-1: 2014 / A11: 2017

Standards der RoHS-Richtlinie 2011/65 / EU:

IEC 62321-3-1: 2013

IEC 62321-4: 2013

IEC 62321-5: 2013

IEC 62321-6: 2015

IEC 62321-7-1: 2015

IEC 62321-7-2: 2017

IEC 62321-8: 2017

Voller Name: Lion Liao

Position: Approbation Manager

Unterschrift: 

Date: 29.Dez.2020

Declaration of Conformity

We (Manufacturer is responsible for this declaration)

GuangDong Substanbo Technology Co.,Ltd.
(Company name)

2508, Building 4, Tianan Cloud Park Phase II, Bantian Street, Longgang District, Shenzhen, China 518100
(Company address)

declare under our sole responsibility that the product

Trade name: Bomaker

Equipment: PROJECTOR

Model No. : Magic 420 Max

to which this declaration relates is in conformity with the essential requirement set out in the Council Directive on the Approximation of the laws of the Member States relating to RED Directive(2014/53/EU) & EMC Directive(2014/30/EU) & Low Voltage Directive (2014/35/EU) RoHS(2011/65/EU) product is responsible to affix CE marking, the following standards were applied:

2014/53/EU (RED) Radio Equipment Directive Standards :

EN 62311:2008

EN 50665:2017

EN 62368-1:2014/A11:2017

EN 50332-2: 2013

ETSI EN 301 489-1 V2.2.3 (2019-11)

ETSI EN 301 489-3 V2.1.1 (2019-03)

Final draft ETSI EN 301 489-17 V3.2.3 (2020-07)

ETSI EN 300 328 V2.2.2 (2019-07)

ETSI EN 300 440 V2.2.1 (2017-05)

ETSI EN 301 893 V2.1.1(2018-07)

2014/30/EU EMC Directive Standards :

EN 55032:2015

EN 61000-3-2:2019

EN 61000-3-3:2013/A1:2019

EN 55035:2017

2014/35/EU Low Voltage Directive Standards :

EN 62368-1:2014/A11:2017

2011/65/EU RoHS Directive Standards:

IEC 62321-3-1 : 2013

IEC 62321-4 : 2013

IEC 62321-5: 2013

IEC 62321-6 : 2015

IEC 62321-7-1 : 2015

IEC 62321-7-2 : 2017

IEC 62321-8 : 2017

Full Name: Lion Liao

Position: Approbation Manager

Signature: 

Date: Dec.29.2020

Konformitätserklärung

Wir (Hersteller ist verantwortlich für diese Erklärung)

Guang Dong Substanbo Technology Co , Ltd
(Name der Firma)

Room 2508, Bd.4, Tianan yungu 2nd Industrial Park, Longgang District Shenzhen,China
(Name der Firma)

erklären unter unserer alleinigen Verantwortung, dass das Produkt

Handelsname: Bomaker

Ausstattung: PROJEKTOR

Modellnummer: Magic 420 Max

Die Erklärung, auf die sich diese Erklärung bezieht, entspricht der grundlegenden Anforderung der Richtlinie des Rates zur Angleichung der Rechtsvorschriften der Mitgliedstaaten in Bezug auf die ROTE Richtlinie (2014/53 / EU) und die EMV-Richtlinie (2014/30 / EU). Niederspannungsrichtlinie (2014/35 / EU) Das RoHS-Produkt (2011/65 / EU) ist für die Anbringung der CE-Kennzeichnung verantwortlich. Folgende Normen wurden angewendet:

2014/53 / EU (ROT) Richtlinien für Funkgeräte :

EN 62311: 2008

EN 50665: 2017

EN 62368-1: 2014 / A11: 2017

EN 50332-2: 2013

ETSI EN 301 489-1 V2.2.3 (2019-11)

Endgültiger Entwurf ETSI EN 301 489-17 V3.2.3 (2020-07)

ETSI EN 300 328 V2.2.2 (2019-07)

Normen der EMV-Richtlinie 2014/30 / EU:

EN 55032: 2015

EN 61000-3-2: 2019

EN 61000-3-3: 2013 / A1: 2019

EN 55035: 2017

Normen der Niederspannungsrichtlinie 2014/35 / EU:

EN 62368-1: 2014 / A11: 2017

Standards der RoHS-Richtlinie 2011/65 / EU:

IEC 62321-3-1: 2013

IEC 62321-4: 2013

IEC 62321-5: 2013

IEC 62321-6: 2015

IEC 62321-7-1: 2015

IEC 62321-7-2: 2017

IEC 62321-8: 2017

Voller Name: Lion Liao

Position: Approbation Manager

Unterschrift: 

Date: 29.Dez.2020

FCC STATEMENT :

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

- (1) This device may not cause harmful interference, and
- (2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Warning: Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

NOTE: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

Reorient or relocate the receiving antenna.

Increase the separation between the equipment and receiver.

Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.

Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

FCC Radiation Exposure Statement:

This equipment complies with FCC radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment.

This equipment should be installed and operated with minimum distance 20cm between the radiator & your body.

This device contains licence-exempt transmitter(s)/receiver(s) that comply with Innovation, Science and Economic Development Canada's licence-exempt RSS(s). Operation is subject to the following two conditions:

- (1) This device may not cause interference.
- (2) This device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

L' émetteur/récepteur exempt de licence contenu dans le présent appareil est conforme aux CNR d' Innovation, Sciences et Développement économique Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L' exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes :

- (1) L' appareil ne doit pas produire de brouillage;
- (2) L' appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d' en compromettre le fonctionnement.

bomaker

EU Representative: E2euro Consulting Hungary

Address: Hoferstasse 9B, 71636 Ludwigsburg, Germany

UK Representative: Substanbo Innovations Technology Limited

Address: 105, 11 Courtenay Road, East Lane East Lane

Wembley United Kingdom HA9 7ND

US Representative: Substanbo Inc.

Address: 36 South 18th Avenue, Suite A, Brighton, CO, USA 80601

Manufacturer: GuangDong Substanbo Technology Co., Ltd.

Address: 2508, Building 4, Tianan Cloud Park Phase II,

Bantian Street, Longgang District, Shenzhen, China 518100

 support@bomaker.com

 www.bomaker.com



@BomakerOfficial

Made in China

